

2009年2月12日

オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)
受益者の皆様へ

三菱UFJ投信株式会社

「オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)」の

第48期(2009年2月)の分配金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は弊社商品『オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは2月10日に第48期決算を迎え、当期の分配金を1万口当たり40円(税引前)と致しましたことを、ご報告申し上げます。

ファンドの分配方針と前回決算(2009年1月)までの分配について

当ファンドの分配方針

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みません。)等の全額とします。

収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

収益の分配にあてなかった利益については、信託約款に定める運用の基本方針に基づいて運用を行います。

上記の分配方針に従い、随時分配水準の見直しを実施し、直近では2007年4月以来1万口当たり80円(税引前)の分配金を継続してまいりました。

今期決算(2009年2月)における分配金の引き下げについて

当ファンドはオーストラリアの上場不動産投資信託(以下、豪リート)を主要投資対象とし、上記の分配方針に従って安定的に分配金をお支払いしてまいりましたが、2007年10月以降のファンドの基準価額は、

米国サブプライム問題に端を発する世界的な不動産市場の悪化を受けた豪リート市場の全面的な下落。

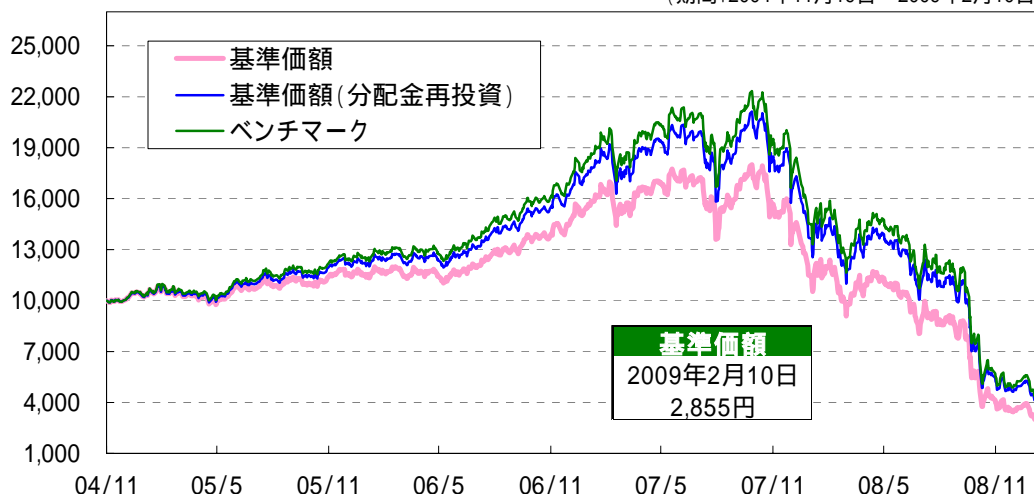
加えて、円キャリー取引解消ならびに資源国通貨の下落等により豪ドルの対円レート下落という要因等により、大幅に下落した状態にあります。

こうした基準価額下落によりファンドの分配金利回りは上昇し、豪リート市場の代表的な指数の1つであるS&P/ASX 200 A-REIT指数の予想配当利回りを大幅に上回る状況にあります。このような状況下、ファンドの安定的な運用のため今般分配金水準の見直しを行い、今期決算の分配金を1万口当たり40円(税引前)に引き下げることといたしました。

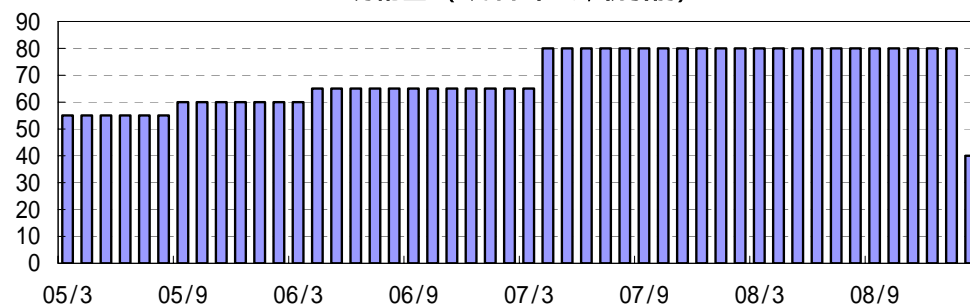
「当資料のご利用にあたっての注意事項等」の内容を必ずご覧ください

基準価額の推移

(期間:2004年11月19日～2009年2月10日)



(円) 分配金 (1万口当たり、税引前)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年1.05%(税抜1%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

注) 運用状況によっては、分配金が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。なお、分配金は税引前の値です。

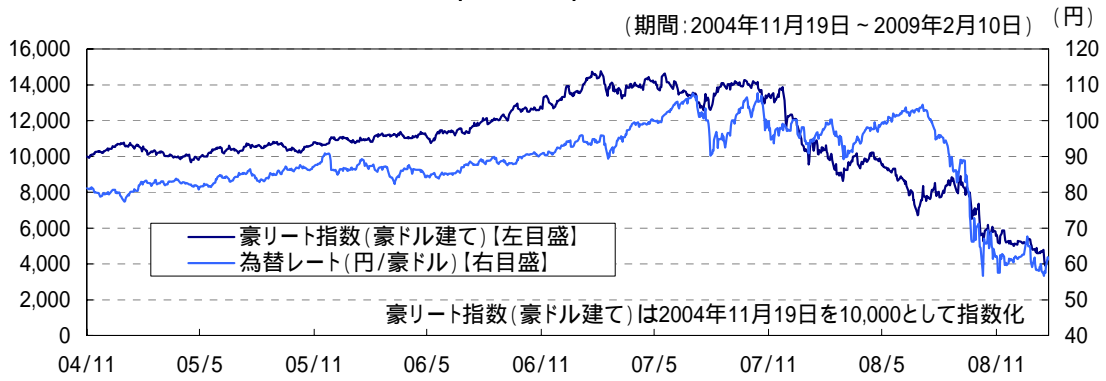
・上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

ベンチマークはS&P/ASX200 A-REIT Index(配当込み、円換算ベース)です。

S&P/ASX200 A-REIT Index(配当込み)は、スタンダード・アンド・プアーズ社(以下「S&P」といいます。)が公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投信の値動きを示す代表的な指数の一つです。S&P/ASX200 A-REIT Index(配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX200 A-REIT Index(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。なお、S&P/ASX200 A-REIT Index(配当込み)を公表しているS&Pは委託会社との同指数に係る契約書に基づき同指数の利用を許諾すること以外、当ファンドの設定、募集、運用等、当ファンドに関して一切関与しておりません。S&PはS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、また、S&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して補償等の責任を負うものではありません。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」の内容を必ずご覧ください

豪リート指数(豪ドル建て)と為替相場の推移



- ・豪リート指数(豪ドル建て)は、S & P / ASX200 A-REIT Index(配当込み)です。
- ・為替レートは三菱東京UFJ銀行発表の対顧客直物電信売買相場の仲値(TTM)です。

ベンチマークの配当利回りの推移



(出所): トムソン・ロイター社のデータより三菱UFJ投信作成

今後の分配金の見通しについて

今後の分配につきましては、引き続き、分配水準の安定性に配慮しながら、豪リート市場・円/豪ドル市況の動向を踏まえ、長期的な期待収益率に沿って分配金を決定させていただきます。

運用成果の詳細につきましては、運用報告書ならびにマンスリーレポート等をご参照下さい。

今後とも引き続き『オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)』をご愛顧下さいますようお願い申し上げます。

敬具

オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)
ファンドの特色

- ・S & P / ASX200 A - REIT Index(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
- ・実質組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
- ・原則として毎月、収益を分配します。
- ・コロナル ファースト ステート プロパティの投資助言を受けます。

商品概要

設定日 : 2004年11月19日
 決算日 : 原則として、毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
 信託期間 : 無期限
 ただし、ファンドの残存口数が当初設定口数の10分の1または10億口を下回った場合等には、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。

ベンチマーク : S & P / ASX200 A - REIT Index(配当込み、円換算ベース)
 お買付け申込み : 原則として、いつでもお買付申込み、換金のお申込みができます。ただし、オーストラリア証券取引所の休業日およびシドニーの
 中途換金 : 銀行の休業日に該当する日については、お買付・中途換金のお申込みができません。
 申込価額 : 申込受付日の翌営業日の基準価額

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

申込時に直接ご負担いただく費用
 申込手数料 : 申込価額 × 2.625% (税抜 2.5%) を上限として販売会社が定める手数料率
 換金時に直接ご負担いただく費用
 信託財産留保額 : 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた額
 保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 信託報酬 : 純資産総額に対して、年率 1.05% (税抜1%)
 ファンドは実質的に上場投資信託(リート)を投資対象としており、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。

その他費用(*) : 売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用等

(*)「その他費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

(課税関係)個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

【お申込不可日について】2009年の該当日は、1月26日、4月10日、4月13日、6月8日、8月3日、10月5日、(12月24日)、12月25日、12月28日()の受付は9時30分までです。なお、休業日は変更される場合があります。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

当ファンドは、主に不動産投資信託証券(リート)を実質的な投資対象としますので、リート市場の相場変動により組入リートの価格が下落すること、組入リートの発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により組入リートの価格が下落すること等で当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、実質的に外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資家のみならず投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当ファンドの主な投資リスクとして、組入リートの価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク等があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「基本情報 リスク」をご覧ください。

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入していません。/投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。/投資信託は、書面による契約の解除(クーリング・オフ)の適用はありません。/運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみならずに帰属します。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。/当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

設定・運用 ...三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 (社)投資信託協会
 (社)日本証券投資顧問業協会

<お客様専用フリーダイヤル> 0120-151034(毎営業日の9:00~17:00)
 <オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
 基準価額・分配金をメール配信 <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
 (*メール配信対象外ファンドもあります。)



オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)
当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

<p>市場リスク</p>	<p>(価格変動リスク) 当ファンドは、不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、S & P / ASX200 A - REIT Index (配当込み、円換算ベース) に連動する投資成果をめざしていることから、不動産投資信託証券の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、不動産投資信託証券の価格は保有不動産等の価値やそこから得られる収益の増減等により変動するため、当ファンドはその影響を受け不動産投資信託証券の価格・S & P / ASX200 A - REIT Index (配当込み、円換算ベース) が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。保有不動産等の価値は、不動産市況、社会情勢等のマクロ的な要因の他、不動産の質や収益増減等の個別的要因によって変動しますが、災害等による保有不動産の滅失、劣化または毀損があった場合には、その影響を大きく受けることがあります。なお、保有不動産等から得られる収益は、賃料水準、稼働率、借入金利率等の要因により変動します。また、不動産投資信託証券は、株式と同様に上場市場で取引が行われ市場の需給を受けて価格が決定しますが、利回りに着目して取引される傾向もあるため、公社債と同様に、金利の影響を受けることがあります。よって、金利の上昇局面では、不動産投資信託証券に対する投資価値が相対的に低下し、不動産投資信託証券の市場価格が下落する場合があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p> <p>(為替変動リスク) 実質的な主要投資対象である海外の不動産投資信託証券は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<p>信用リスク</p>	<p>信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいい、株式や公社債への投資と同様に、当ファンドはそのリスクを伴います。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。</p>
<p>流動性リスク</p>	<p>有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている不動産投資信託証券の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。また、不動産投資信託証券は、株式と比べ市場規模が小さく、また、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。</p>

オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)

当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

留意事項

・当ファンドは、一定の運用成果を保証するものではありません。
 ・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。
 ・当ファンドは、S & P / ASX200 A - REIT Index(配当込み、円換算ベース)の動きに連動することをめざして運用を行います。信託報酬、売買委託手数料等を負担すること、指数先物取引を行わないため組入比率を高位に維持できないこと、売買約定価格と当該指数の評価価格の差が生じること、指数構成銘柄と組入銘柄の違いおよびそれらの構成比に違いが生じること、当該指数を構成する銘柄が変更になること、為替の評価による影響等の要因により乖離を生じることがあります。
 ・当ファンドは、原則として毎期収益分配を行う方針ですが、毎期一定水準の収益分配金の支払いを保証するものではなく、収益分配金額は運用実績に応じて変動します。なお、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。
 ・不動産投資信託証券および不動産投資信託証券が保有する不動産に係る法律、税制、会計などの制度変更が、不動産投資信託証券の価格や配当率に影響を及ぼすことがあります。不動産投資信託証券の投資口数が増加する場合、1口当たりの不動産投資信託証券の収益性が低下することがあります。
 ・対象指数との連動性を保つために集中投資している特定の銘柄が大きく下落した場合、ファンドの基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

